上島町

議会だより

No. 6
2007年１月

編集　上島町議会広報編集委員会　　発行　上島町議会
〒794−2592　愛媛県越智郡上島町弓削下弓削210番地　TEL０８９７−７７−２５００

11月10日(金)　第１回上島町社会福祉大会　於　せとうち交流館
写真は、挨拶する新川副議長

主な内容

○ 一般質問 …… ２〜５Ｐ
○ 常任委員会 …… ５Ｐ
○ 議会の活動 …… ６Ｐ

9月定例議会
一般質問

9月27日・28日に開催された第3回定例会においては、7名の議員が一般質問を行いました。
質問内容と答弁の要旨は次のとおりです。
（掲載の順序は質問順で、記事の内容は基本的に質問議員が編集しています。）

濱田勝祐議員

味の伝承館にトイレの設置を

Q 生名に建設されている味の伝承館にトイレがなく利用者は民家などでトイレを借りている状態であり、早期に建設を。又、作業中での排水が悪いので土間に水が溜る為、不衛生であり足を滑らすと事故の原因になる可能性もある。排水が円滑になる様要望する。出入口に軒の取付は要望の中とあるがいかがか。

A（柏原生名総合支所長）トイレの件は設計図を示した時、設置要望がなかった。公民館、生名港にトイレがあり3ヶ所必要かどうか。設けるなら町づくり交付事業を財源として活用出来るか協議したい。排水は下に流せる方法を考えて欲しいとの事ですが来年度の予定にしている。軒は必要性が大きくない為辛抱していただきたい。

Q 公民館など閉っている事もあり生名港は距離があり不便である。設計図を見せた時トイレの要望がなかったとの回答だが、行政側から必要か否か相談する親切があってこそ住民の為の行政ではないのか。

排水の件にしても方法はいくらでもある。住民との対話を十分なされるべきではないか。

廃業廃棄物と一般廃棄物との処理の仕方は

Q 下水道工事に伴って、色々な残骸が多く発生する。残骸は工事依頼人の要望（再利用）で私有地畑に仮置するのは違法か、そうであれば、注意する業者としない業者が居ると聞くが公平な見解を希望する。

A（植田生活事業課長）産業廃棄物は事業活動に伴って排出される全ての廃棄物を事業者自らの責任において適正に処理しなければならない。仮置についても保管場所から廃棄物が飛散、悪臭が発散しない様又、地下に浸透ねずみ、ハエ等害虫が発生しない様処理をする等、保管基準に従い、分別等処理を前提とした保管であれば、一般的には百八十日までは認められる。周囲に囲いを設けて産業廃棄物の仮置場所である事の表示が必要です。

A（柏原生名総合支所長）私共も足を運び現場をよく見て公正に注意をし指導出来る様、再度、徹底いたします。

竹林秀夫議員

小学校区の見守り隊について

Q 近年、女子児童殺害事件などを受け、県内でも地域ぐるみでの小学校区で子供の安全を守る「見守り隊」が結成されているが、上島町では具体的にどのような組織で活動を実施しているのか。防犯ブザーを貸与していますが、卒業後の回収はされているのか。

A（林教育長）全小学校区で児童の登下校の時間帯、教職員やPTA、交通安全協会、防犯協会の役員並びに駐在さんによる見守り活動を行っています。又、防犯ブザーは今年度からは、伯方地区防犯協会が入学児童に全て防犯ブザーを貸与ではなく支給しています。

「行政改革の新たな指針の策定、集中改革プラン」について

Q 計画的な行政改革の推進と説明責任などの取組を集中的に実施するため各種財政指標、財務内容を示すバランスシートや行政コスト計算書の作成が急務と思われますがどうか。

A（山下総務課長）バランスシートは税金の効率的な活用、費用対効果の追求、財政の健全性の確保といった観点で、行財政運営に役立つ評価方法の一つとして、町村については5年後の2011年度までに整備することとなっています。

指定管理者制度の導入について

Q 今年4月、指定管理者制度を導入し、現在、6施設が管理運営されていますが各地区の集会所の指定管理者の導入、又、集会所施設を地縁による団体制度の活用について。

A（植田生活事業課長）地区集会所につきましては、昨年12月議会において条例を改定したが、制度を導入すれば地区役員の負担が大きくなりますので、現行の管理体制を継続できるよう確認書の準備を

進める。地縁団体制度は各地区に対し、認可申請の要請は考えていません。又集会所経営負担は増改築、建替えも含め補助事業ですと、補助金を差し引いた、半額を地区負担、半額を町負担、10万円を超える修繕は10万円を差し引いた、残りの経費を2分の1ずつ地区と町が負担します。

平山和昭議員

自主防災組織への助成金をどうするのか

Q 近年中に発生するかもしれない南海大地震に対応するため県、市町レベルで夫々防災組織の立ち上げ、訓練等が行われているところである。本町でも各地区自主防災組織の立ち上げが急がれており種々取り組まれている。こうした自主防災組織の立ち上げに関し、行政庁は、どのような経済的支援をとろうとしているのか。

A（宮川消防長） 自主防災組織の立ち上げに関する直接的な助成金は現時点では考えていないが、間接的には昨年度から防災資機材の提供、防災士育成に必要な経費を助成し、本年度町内に6名の防災士が誕生した。自主防災組織の立ち上げが遅れている地区については、事務的支援も行い、早期に結成できるよう指導と支援を行う。また、今後も防災資機材整備は可能な限り補助事業等を活用するが、状況により町単独費での整備の支援も行う考えでございます。

Q 防災に関して必要な物品の備蓄等にかかる費用は自治組織の負担にならないようにすべきである。また物資の備蓄場所等の周知、行政庁内における各地区担当者の決定など、各地区との協力体制の構築をしっかりやってほしい。組織率はどうか。

A（宮川消防長） 防災資機材の備蓄は現在町内9地区の公共施設に保管しているが大規模災害が発生したときは不足する。それを補うため今年度中をめどに商工会・生協・農協等と協定を結び、災害発生時には物資の提供を受けられるよう準備をしている。防災士の育成についても人口の1％程度を目標に育成し災害に備えた体制を整えていきたい。上島町に於ける自主防災組織の状況は平成18年9月1日現在、組織数3。結成率21・3％。20市町中12番目です。

宮脇政敏議員

労働者向け新規住宅確保について

岩城では労働者向けの住宅が極端に不足している。テックの新規拡張計画で200名の雇用拡大となり一層不足となる。町営住宅は国の許認可で遅くなるので早期実現へ既存企業との共同建設を考えてはどうか。

A（上村町長） 定住促進計画での住宅確保は重要課題と位置付けている。公営で建設する住宅も必要ではないかと言う事も指示しております。

A（村上産業振興課長） 民間企業の共立9部屋、岩城造船も30部屋の寮を建設している。高校跡地利用は県からの相談があり次第協力したい。旧4ヶ町村の空家も現在調査中です。

H19年度予算編成について

9月決算認定が終ればH19年度予算編成に向けて短期中期の何を目玉に重点施策事業を進める考えか。町幹部職員との住民要求にそったすり合せはしているのか。長短期の財政計画、産業振興、造船振興計画の説明も併せて伺いたい。毎年億単位で交付税が減らされているが生名海光園の建替えは基金条例で2億4600万積立ているが用地買収を入れると10数億必要と考えるが経過報告を求める。コンサルを含む住民懇談会で真剣に議論した長期計画の報告がないが何故か。

A（上村町長） 国はシーリングによる予算査定作業中。来年度予算編成工程は6月から各課へ文書、口頭で説明、広報等でお知らせした4つの基本政策に取組みます。

A（村上企画情報課長） 町の総合計画は審議会の意見を入れて内部で検討、調整中だが若干遅れている。近々計画を固めます。

原博彦議員

㈱いきなスポレクの運営について

Q ㈱いきなスポレクの十七年度決算によると、収入の内、受託事業収入（町委託金）が二九，〇〇〇千円他の収入は二二，〇四七千円である。

一方支出の内、人件費（役員報酬含む）は二

六，四六四千円で経費全体の五五％を占めており、十八年度計画では人件費が三〇，七〇〇千円で五九％になっており会社経営上望ましくない。財源が厳しく町民には様々な分野で負担が増えている中で、年間約三千万円の管理運営委託費を何時まで続けるのか、町としてはどこまで支えていくのか。

A（上村町長）

いきなスポレク公園は設立当時の趣旨に沿って今後も運営していく。ただし運営内容については大幅な見直しを行う必要があり、経営分析等指示している。

Q 株式の五一％は町、四九％は民間であるが、民間の株を町が全部買い取り、その上で思い切った処置は出来ないものか、まずは十九年度の当初予算で結果を出していただきたい。

A（上村町長）

株の買い上げについては検討は進める。十八年度の人件費増は職員の異動がらみである。十九年度当初予算に反映できるようにしていきたい。

ニューうおしまの運航時間について

Q 芸予フェリー土生行弓削港着が八時十五分、魚島行弓削発が八時十分、町営であるニューうおしまの時刻表を町民が利用しやすい時刻で対応できないか。

A（中村魚島総合支所長）

平成十一年の運航計画の変更時に時刻改正したが、今一度、精査し協議したい。

寺下満憲議員

町内区民館・集会所の冷暖房完備を急げ

Q 最近では、住宅事情等で、葬儀に区民館や集会所を利用する家庭が増えています。ところが、町内にある施設によっては、冷暖房が完備されてなく、不便、不快感を感じる施設があります。このような施設に冷暖房機器を設置して、早く改善することをお願いします。

A（植田生活事業課長）

施設には、建設の経緯、管理形態、利用形態に相違があります。町が管理する施設は町が負担します。地区集会所と位置付けられる集会所につきましては、冷暖房施設等の備品類は今後も地区で負担をお願いしたいと考えております。

それから、弓削地区・岩城地区では地区集会所に位置付けられている集会所の冷暖房機器は地区の経費で設置しています。

A（上村町長）

集会所は地区が使うものですから地区の方が負担するのが筋だと思います。何から何まで、行政が出さなければいけないという考えは、そろそろ改めた方が良いのではないかなと思っています。

公園・遊園地・花壇の管理の充実を求める

Q 合併後、公園や遊園地・花壇等の施設が荒れ放題の状況が見られます。旧町村時代は各施設ごとに予算化をし管理をしてきました。現在ではどの様に管理をしていますか。町としての管理の充実を求めます。

A（植田生活事業課長）

公園等の管理は各地区各施設で管理方法が違います。例えば、弓削地区では、地区の要望で整備した施設は、地区で管理をしたり、有志の方々のボランティアで管理しています。管理については、合併前の調整が全くされておりませんでしたので今年度当初より管理状況の調査をしており調査により施設の所管を明確にして、管理の一元化をし、施設の所管課の責任において、適切に管理することを現在、各支所と協議中です。

大西宗一議員

魚島、高井神地区における学校の統廃合について

Q 統廃合というよりも存続の方が趣旨が強いと思うので、現在、魚島、高井神地区で三つの学校があるが、生徒が五人で、超少子化の波をもろに受けている。陸地の学校なら、もう統合されてもおかしくない。現在、魚島には保育所を含めても九人ほど。やはり子供を持つ親としては、今後学校が存続するのか廃校になるのか気になります。今後どうなるのかお尋ねします。

A（林教育長）

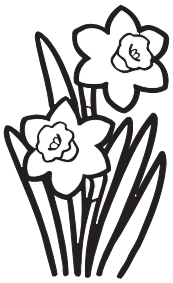
魚島地区の児童、生徒の状況について、小四、小六年が、それぞれ一名ずつ、高井神に、小一、小三年が一名ずつで四名、魚中に一名で計五名が存学している。なお、就学前の子供の状況ですが〇歳児一名、一歳児二名、二歳児一名、三歳児二名、四歳児一名、五歳児二名、合せて九名、全部の学年に一人はおるという状況。魚島地区では、今年度三組の新婚さんが誕生、今後も新生児が期待される。旧魚島時代から、学校は地域の文化の灯台、村民募集で子供がいる家族に来てもらい学校の存続

を図ろう、という思いから平成六年に「定住促進対策条例」を制定し村民募集し、家族で来ていただいた経緯も承知している。旧魚島村の「島から学校が消える」「学校を守ろう」との強い熱意による当時の各種の施策の効果が現れている。このため教育委員会としては、学校の統廃合は現在のところ考えていない。

Q 教育長さんの話では統廃合はないとのありがたい答弁を頂き安心しました。最近、四国中央市の新宮地区で、十九年度から小、中一貫校を試みるという報道があったが、魚島でもそういう方向付けを今後されるのかどうか。

A（林教育長） 魚島地区には、魚島、高井神それぞれ学校がある。離島、船便の時間の関係、それと定住促進で高井神にも、子供の居る家族に来ていただいたという、旧魚島村からの経緯もあり現在、一つにまとめるのは難しい。

現在のところ魚島小、中については、校長、教頭、各先生方も併任というんですか、兼務辞令を上島町教育委員会で出している。自由に有効に先生方の時間を使って教育、授業出来る体制、又、高井神の小学校については、集合学習で二人だけで学ぶのではなく、週一回必ず魚島に来て、少しでも多くの子供と一緒に学んで、社会性を身につけてもらう教育の形を取っている。当然、高井神の先生にも、兼任辞令を出している。魚島でも子供に教える形を採っているので、実質的には小、中一貫教育という形になっていると、理解している。



常任委員会

12月18日(月)午前9時15分招集の第4回定例会において、任期満了の常任委員会委員の選任が行われました。

10月23日招集の第7回臨時会では正副議長の選挙も実施され、それぞれ次の方が選任されました。

議長
田窪　忍

副議長
新川　健

◎総務委員会（6人）

予算・決算・税務・庶務その他の委員会に属さない事務（順不同）

委員長
濱田勝祐議員

副委員長
村上　要議員

岡島政則議員

原山公男議員

松浦明広議員

田窪　忍議員

◎産業建設委員会（6人）

農林漁業、商工及び土木建設に関する事務（順不同）

委員長
原　博彦議員

副委員長
松原彌一議員

宮脇政敏議員

池本興治議員

土居計彦議員

平山和昭議員

◎文教厚生委員会（6人）

学校教育、社会教育及び保健衛生民生に関する事務（順不同）

委員長
寺下満憲議員

副委員長
大西宗一議員

新川　健議員

森本裕人議員

竹林秀夫議員

前田省二議員

～地域福祉のまちづくりを住民とともに～
第１回社会福祉大会（11月10日）

議会の傍聴について

議会の傍聴はどなたでもできます。
定例議会は３月・６月・９月・12月に開催され、臨時議会は必要な都度開催されます。
なお、定例会や臨時会の開会日は、決定次第上島町ホームページの議会情報コーナーに掲載しています。
《上島町ホームページ　http://www.town.kamijima.ehime.jp》

議　会　の　活　動　（前号掲載分以降）

月	日	活　動　内　容	月	日	活　動　内　容
9	15	弓削地区敬老会（14名）	11	3･4	岩城地区文化祭、芸能発表（５名）
9	21	第７回全員協議会（全員）	11	4･5	生名地区文化祭、芸能発表（11名）
9	27･28	第３回定例会（全員）	11	10	第１回上島町社会福祉大会
9	30	上島町観光協会設立総会	11	11･12	弓削・魚島地区文化祭・芸能発表（２名）
10	2	上島町身体障害者福祉協議会設立総会	11	12	上島町産業まつり（９名）
10	10	岩城へき地教員宿舎安全祈願（15名）	11	20	第９回（議員）全員協議会（16名）
10	23	第８回全員協議会	12	12	第10回全員協議会（17名）
		第７回臨時会（全員）	12	18	第４回定例会（全員）